

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）コマザワ	フリガナ）ケイエイ	フリガナ）カネムラ エイテツ
駒澤大学	経営学部	兼村 栄哲 ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ユトリノホシ	フリガナ）シオザワ ケンタ	7	無
ゆとりの星	塩沢 健太		

## 研究テーマ（発表タイトル）

「悩みの連鎖から笑顔の連鎖へ」 ～人々による人のための問題解決～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは現在日本が抱えている諸問題のうち、「高齢者の孤独化」「子どもの体力低下」「子どもの生活習慣の悪化や生活能力の低下」「女性の子育て問題」の4点をピックアップしました。これらの共通の原因として人とのつながりが希薄であることが挙げられ、これらを解決するために、「大学生」と「大学」の強みを活かして「高齢者」、「主婦」、「小学生」に新たなコミュニティを提供できるような仕組みを作ることはできないかと考えました。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

厚生労働省の平成 22 年「生活困窮者 孤立者の現状」によると 65 歳以上の一人暮らしをしている人数は 1980 年から 2010 年までの 30 年間で男性が 193,000 人から 1,386,000 人と約 7 倍、女性が 688,000 人から 3,405,000 人と約 5 倍と急増しています。また、60 歳以上のうち「話し相手がいない」「頼れる人がいない」と答えた人を見てみると一人暮らしをしている人の割合が圧倒的に高く、このような人たちは「近所付き合いの程度」も低い水準であることが分かりました。

また、文部科学省の「文部科学白書」によると、子どもの生活習慣や生活能力の程度は家庭の教育力により規定されるとあり、さらに家庭の教育力は地域の教育力により規定されるとあります。平成 17 年度版の「文部科学白書」によると、「地域の教育力」についての調査で自身の子供時代と比べて低下していると答えている人は 55.6%に上りました。これにより、子どもの生活習慣の悪化や生活能力の低下が起きていると考えられます。

加えて、文部科学省の平成 26 年度「体力・運動能力調査」によると、現在の子どもの体力・運動能力の結果をその親の世代である 30 年前と比較すると、その多くのテスト項目において、子どもの世代が親の世代の記録を下回っています。このことから「子どもの体力低下」が起きていると考えられます。

さらに、厚生労働省の平成 27 年度版「厚生労働白書」によると、「子育てをされていて負担・不安におもうことがあるか」という問いに対し、約 70%の人が負担・不安に思うことがあると答えています。また、日本労働組合総合連合会の平成 25 年「子ども・子育てに関する調査」によると、1 週間に 100 時間以上子育てに費やしている人の割合は女性が 20.3%であるのに対し、男性

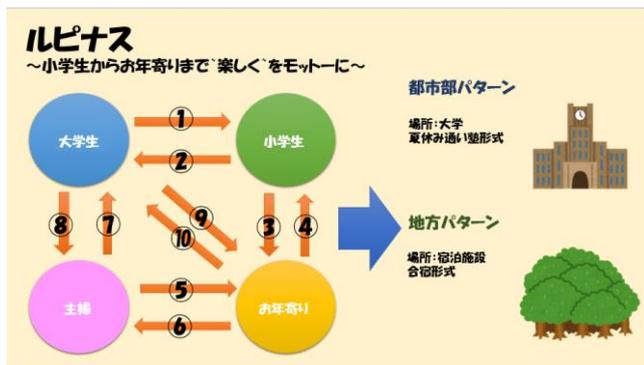
は 1.1%と明らかに女性の負担が大きくなっています。また、「子育てでストレスを感じることもあるか」という問いに対しては、全体の約 70%、女性の 85%があると答えています。加えて、ストレスに関する不安や悩みの要因として、二位に「子育ての方法やしつけ」を 53.2%の人が上げています。

### 3. 研究テーマの課題

現状分析の内容を受け、「地域の教育不足」「ママ友に相談したい」「遊び場不足」「地域の支援がほしい」「コミュニティの欠如」が本テーマにおける課題であると認識し、これらを包括的に解決するために、「地域コミュニティ」の形成が不可欠であると考えました。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは地域コミュニティを形成する「ルピナス」を提供します。このシステムの概要は、大学生が主催者となり、「高齢者」「小学生」「主婦」に大学が持つ資源を提供して(大学で)、「大学生」も含む 4 者で相互に学びあうというものです。「場」の提供、「知恵」の提供、「楽しさ」の提供を本プランの三つの軸と設定し、老若男女、それぞれ 4 つの主体の欲求を充足させる内容を提供します。例として、「高齢者」と「大学生」には、コミュニケーションの場を提供することによって、前者から後者には「働くことについてのアドバイス」、後者から前者には「話し相手となること」といった相互依存の状態を生じさせ、両者の社会的交換を実現します。また、3 つの軸のうちの 1 つである「知恵」の提供から、「食育」をテーマとしたプログラムを開催し、さらなるコミュニティの増強、コミュニケーションの強化を図ることが可能であると考えています。本プランの導入先は「大学」と設定し、①将来的投資（参加する小学生、保護者には開催地である大学を将来的な受験候補の一つとしてもらう）②宣伝効果（地域住民参加型にすることによって、地域からの大学の好感度の上昇をねらう）③遊休資源の活用（夏休み中使用されない空き教場を有効活用できる）と、場所を提供する大学側の利益も考慮してあります。



- ① 体を動かすたのしさ 自由研究 宿題
- ② 徳し「教える」という経験
- ③ 気分転換 徳し
- ④ しつけ(例えば、箸の持ち方や食事マナー)
- ⑤ 「聞く」ということ コミュニケーション相手
- ⑥ 子育てのアドバイス 知恵
- ⑦ 家事のポイント 子育てしながら働くこと
- ⑧ 家事からの解放
- ⑨ 機械操作 運動 話し相手
- ⑩ 人生経験 働いていた時の事 人生経験

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

現状分析の内容から、「大学生」「高齢者」「主婦」にアンケート調査を実施しました。

「大学生」には、総数 113 名に実施し、「人（小学生や高齢者）に何かを教えるという経験をしてみたいですか」という問いには 71.4%が「教えてみたい」と回答、「小学生と触れ合う機会があれば、触れ合いたいと思いますか」という問いには 75.0%が「触れ合いたい」と回答し、さらに、「将来について不安はありますか。」という問いには 66.1%が「不安があり、相談したい」との回答をいただきました。この結果から、「大学生」には、「小学生」「高齢者」と関わり合いたいと感じる人が多数存在するといえます。

「高齢者」には、総数 100 名に実施し、「若者や子どもと話したいですか」という問いに対し、80%もの人が「話したい」との回答をいただきました。

「主婦」には、「子育て相談・コミュニティに関するアンケート」との名目で総数 103 名に実施し、「お子さんの将来について、不安はありますか」という問いに対し、52.5%の人々が「不安がある」と回答し、このプランでの主体の 1 人である「小学生」をこのようなプランがあれば参加させたいかどうかについて尋ねたところ、72.5%もの人々が「参加させたい」との回答をしました。

上記結果より、私たちが提案する「ルピナス」は、それぞれの要望に沿った提案プランであるといえます。

## 6. 結果や今後の取り組み

「ルピナス」は都市部では大学、地方では宿泊施設を利用する計画ですが、コミュニティが成長するのに合わせ様々なコンテンツを盛り込んでいきたいと考えています。日本文化体験、伝統工芸体験、古民家での宿泊体験などのプランをコミュニティメンバーに提案していきたいと考えています。また、全国規模で「ルピナス」が浸透してきた場合には、地域ごとにできたコミュニティ同士の交流会やその地域限定のプランを提案し、それぞれのコミュニティが互いにそれらの地域の住民や文化などに触れ合えるシステムを確立していきたいと考えています。

## 7. 参考文献

主なものは、以下の通り。

- ・厚生労働省 平成 22 年版「生活困窮者 孤立者の現状」  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000029cea-att/2r98520000029cit.pdf> 2016/09/21 現在
- ・文部科学省 平成 17 年度版 文部科学白書  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpba200501/001/002.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpba200501/001/002.htm) 2016/09/22 現在
- ・文部科学省 平成 26 年度「体力・運動能力調査結果の概要及び報告書」  
[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2015/10/13/1362687\\_02.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2015/10/13/1362687_02.pdf) 2016/09/28 現在
- ・厚生労働省 平成 27 年度版厚生労働白書  
<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15/dl/all.pdf> 2016/09/28 現在
- ・日本労働組合総合連合会 平成 25 年「子ども・子育てに関する調査」  
<http://www.jtuc-rengo.or.jp/news/chousa/data/20130621.pdf> 2016/09/27 現在
- ・ReseMom HP  
<http://resemom.jp/article/2015/10/28/27632.html> 2016/09/25 現在
- ・文部科学省「地域に教育力に関する実態調査」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo2/003/siryou/06032317/002/001.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo2/003/siryou/06032317/002/001.htm)  
2016/09/27 現在

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となります。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡します。
- ※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。